

「にとって」についての一考察

－中級指導の試み－

藤井明子

(原稿受理日 2004年3月31日)

はじめに

シーナカリンウィロート大学では主専攻4年課程、副専攻3年課程で、それぞれ日本語教育が行われている。この稿では、副専攻4年生の学習者（中級前期）の授業を担当する過程で気づいた「にとって」について考えたい。

1. 「にとって」についての学習者の誤用例

2003年度、中級前期の学習者を教える中で、「にとって」ほど導入後、誤用が目立った語はなかった。無作為にはあるが、学習者の誤用例を以下に挙げてみよう。aは誤用例、bは添削例である。

- 1 a. 日本人にとって、コンピュータを使うことはふえてきました。
- 1 b. コンピュータを使う日本人はふえてきました。
- 2 a. 私にとって、すもうはとてもめずらしいスポーツです。
- 2 b. すもうはとてもめずらしいスポーツだと、(私は) 思います。
- 3 a. 私にとって、すいかはとても好きなくだものです。
- 3 b. 私はすいかが大好きです。
- 4 a. 私はクイズ番組を見ることがひまつぶしです。
- 4 b. 私にとって、クイズ番組を見ることがひまつぶしにすぎません。

本コースではタイ人教師が文法解説、日本人教師が文法練習および会話指導を行っているので、最初の導入を学習者がどのように受け止めたのかは不明である。が、繰り返される誤用を受けて、日本人教師の文法練習および会話練習の時間にも、幾度かに分けて「にとって」のタスク活動を行ったので、問題が導入にあったのではないことは明らかである。特に、3 aの誤りは訂正を幾度行っても、幾度となく繰り返された。誤用には学習者の不注意による誤りも含まれるわけだが、これらの誤用について学習者にのみ原因があるとは考えにくい。主因は、説明不足、正しい用法の練習・強化を図ることができなかった教師の側にある。

2. 「にとって」の意味と用法

まず「にとって」はどのように用いられるのか、考えたい。

「～にとって～」ある視点からの判断、評価、意見を述べる。／「～に」のところには人がくるこ

とが多い。その人の立場、視点からの判断、評価を表す。後件には、イ／ナ形容詞、状態を表す動詞、「イ／ナ形容詞＋名詞」、「修飾語＋名詞＋になる」などが用いられる。(以下略)」(p225 坂本)

「(略) 立場、資格を表す「にとって」はその立場から見て、その立場に立つものが意見を述べるならどうである、という意味を持つ。文末には話し手の評価、価値判断を表すことが多い。また、文末には無意志表現(形容詞が多い)が来ることが多い。」(p261 市川)

「「～にとって」の形で、特にその場合だけを考えて言うときに使う。」(p711『基本語用例辞典』)

「(「～にとって」の形で)・・・を中心として考えると。」(p678『日本国語大辞典』)

いずれもある立場、視点からの判断、評価を表す、と言う点では一致している。許容される例はやや異なり、例えば、市川が考慮を要すると挙げている「難しい、簡単だ、読みやすい、興味がある、無理だ」について、坂本は、「漢字を書く試験は、私にとっては簡単です。中国人ですから。」(p255)を挙げ、適当としている。また、『日本語文型辞典』も「むずかしい」等適当としている。もっともこれらの文末表現については市川も、『(「にとって」も可能)』(p261)としており、また「にとって」「にとっては」の取立ての違いに踏み込む余裕もここではないので、特にこれらの表現には触れないこととする。

問題となるのは、市川が「にとって」を使うことができない例として挙げている「～好きだ、～なけばならない、幸せだ、～たいと思う」(p261 市川)である⁽¹⁾。他に「にとって」の文末表現としてふさわしくない例を掲げているのは『日本語文型辞典』で、

「「賛成」「反対」「感謝する」などの態度表明にかかわる表現は用いることができない。

(誤) その案は私にとって反対です。

(正) 私はその案に反対です。」(p447『日本語文型辞典』)としている。

これら以外に学習者の誤用例から、「得意だ、上手だ」等も文末に用いることができない表現として挙げられる。この中で、ここで取り上げたいのは、学習者が誤りやすい「好きだ、得意だ、上手だ、反対だ、賛成だ」等である。

これら文末表現に関する誤用例が多いのは、教科書が「として」「にとって」の違いに主眼を置いて用例を挙げているからであろう。本コースで用いた教科書では

①私にとって、一番難しいのは漢字です。

②留学生にとって、一番大切なのはことばの勉強です。(p61『中級読解入門』)

を挙げている。ほかの教科書を参照しても同様である。

「～にとって＝for～； to～(英訳略)

a) 日本人にとっては普通のことでも、外国人にとっては変に見えることも多いだろう。

b) 日本の大学生にとって、友人との付き合いが一番重要なことだ。」(p107『中級の日本語』)

①現代人にとって、ごみをどう処理するかは大きな問題です。

②これはありふれた絵かもしれないが、私にとっては大切な思い出のものだ。

③石油は現代の工業にとってなくてはならない原料である。

④車は私にとって、作家にとってのペンのようなものだ。(p86『表現文型 500』)

これらの例から学習者が学び取るであろうことを端的に説明しているのが、『表現文型 500』である。

「～にとって」と「～として」は立場を表している点ではよく似ている。しかし、「～にとって」の後の文は主として判断文（形容詞文）、「～として」の後の文は動作文が来ることが多いという違いがある。

工場管理者にとって、工場以内の事故は大きな責任問題です。

工場管理者として、彼は今回の事故の責任をとって辞職した。」(p87『表現文型 500』)

「AにとってBはCです／である」という文型とともに、Cの部分に「イ・ナ形容詞」あるいはそれに類する「イ／ナ形容詞＋名詞」等が来ると類推するのは当然であろう。しかしながら、「好きだ」「上手だ」等は文末表現として用いられることがないので、学習者はこれらの表現について誤りを犯しやすい。

「好きだ、得意だ、上手だ、反対だ、賛成だ」等がなぜ文末に来ないかということを考える上で参考になるのは『基本語用例辞典』である。ここで説明されている「特にその場合だけを考えて言うときに使う」(p711『基本語用例辞典』)という点に着眼したい。『みんなの日本語Ⅰ』の第8・9課(p64-79)を参考に例を挙げることにする。

その辞書はあまりよくないです。

東京の地下鉄はきれいで、便利です。

「七人の侍」は古いですが、とてもおもしろい映画です。

(仕事は)忙しいですが、おもしろいです。

これらはいずれも「にとって」と併用できる形容詞の例である。これらを見て分かるのは、これらは「特にその場合だけ」でなくとも使うことができる表現であるということである。

一方、「好きだ」「上手だ」等は常に、

私は映画が好きです。

サントスさんは歌が上手です。

と、「人（動物）は～がAだ」という文型とともに、その立場、その視点からしか用いることができない形容詞ということができる。⁽²⁾この立場、視点の置き方の相違が「にとって」には重要なポイントなのである。「賛成」「反対」「感謝する」などの態度表明にかかわる表現、また「～なければならない、～たいと思う」などについてもその立場、視点からしか用いることができない表現ゆえ、「にとって」と併用することができないと言えよう。

この点を考慮した文型シラバスの立場から、多くの教科書では「好きだ」「上手だ」等を他の形容詞と区別し、改めて一課を設けて導入しているのだろうが、果たしてこの点は学習者に効果的に伝え

られていたであろうか。この判断文の分けについて、教師側が明確に説明できなかったことが、今回のコースにおいて「にとって」の誤用の繰り返しを招いてしまったと考えられる。

3. 「にとって」を用いたタスク活動

最後に、「にとって」を用いたタスク活動を参考に掲げることとする。前述した通り、これらタスクでは誤用をなくすことはできなかったのも、「不完全な」タスクであることをお断りしたい。なお紙面の都合上、授業に用いたタスクシート等は割愛させていただく。

1. 何が大切？

例：私にとって、愛が一番大切なものです。

私にとって、お金はあまり大切じゃありません。

「愛、健康、正義、楽しさ、奉仕の心、名声、お金」について、大切だと思う順に番号をつける。

また他の学習者にも順番を尋ねる。理由も尋ねるとよい。

2. 気のおけない友達：どんな人ですか？

例：どんなことでも話せる

いっしょにお酒を飲みに行ける

「私にとって気のおけない友達」を考える。また、他の学習者に「～さんにとっての気のおけない友達」について尋ねる。

3. 「食生活」をテーマにして

「食生活」の上で、欠かせないものについて考える。日本人の食生活に関する会話例（略）を参考にして話し合う。

問：日本人にとって欠かせないものは、おしょうゆやおみそだと思います。毎日食べなくてもいいものですが、やはりときどきは食べたいものです。タイの人にとって、食生活に欠かせないものは何でしょう。それは、なぜですか。

4. いい数字・よくない数字

1) タイの人にとって、いい数字・よくない数字は、何ですか。

2) あなたのラッキーナンバーは何ですか。どうしてですか。

以上、各学習項目に関連させながら、「にとって」を意識的に用いたタスク活動をランダムに挙げてみた。いずれの授業においても、その回で取り上げた文例に関しては正しく使えるようになり、作文等では的確なフィードバックがなされた。が、全体としての改善にはつながらなかった。

さいごに

この稿で取り上げたのは「にとって」のみであった。が、このような過程をたどって、学習者が誤りやすい表現についてまとめていく中で、今後中級指導の形を作っていくことができるのではないかと筆者は考えている。

注⁽¹⁾「幸せだ」について、

例：その事故現場に居合わせなかったことは彼らにとって、幸せなことであった。

と「幸運だ」「幸いだ」などと同様に使えると考え、この項に「幸せだ」を含めることに筆者は同意しない。

注⁽²⁾形容詞の文型については森田が、

「形容詞のそれぞれが表す意味は、その語の置かれた文型と深い関係がある。語ごとに取るべき文型が決まっており、形容詞だからどんな形容詞文型でもよいというわけにはいかない。つまり、形容詞を与える場合は、その形容詞にあった文型を提示し、練習をさせなければならない。」(p310 森田)と述べている。しかしながら、ここで森田は、従来の国語文法に従って形容詞と形容動詞を分け、形容詞についてのみ言及しているにすぎない。

参考文献

- 市川保子(1997)『日本語誤用例文小辞典』 凡人社 255-262
- グループ・ジャマシイ編(1998)『日本語文型辞典』 くろしお出版 447
- 坂本正編(1996)『学習者の発想による日本語表現文型例文集ー初級後半から中級にかけてー』
凡人社 255-256
- スリーエーネットワーク(1998)『みんなの日本語Ⅰ』 スリーエーネットワーク 64-69
- 富岡純子・島恭子 日本語教育・教師会編(1991)『日本語中級読解入門』 アルク 61
- 友松悦子・宮本淳・和栗雅子(1996)『どんな時どう使う 日本語表現文型500 中・上級』 アルク
86-87
- 文化庁(1990)『外国人のための基本語用例辞典』(第3版) 大蔵省印刷局 711
- 三浦昭・マグローイン花岡直美(1994)『An integrated approach to Intermediate Japanese 中級の日本語』 The Japan Times 107
- 森田良行(1998)「日本語の形容詞について」『日本語学と日本語教育』 凡人社 296-312
- 吉川武時・水谷信子・稲垣滋子(1997) 明治書院企画編集部編 日本語学叢書『日本語誤用分析』
明治書院
- 日本大辞典刊行会(1975)『日本国語大辞典』14巻 小学館 678